

第4回大宮グランドセントラルステーション推進会議  
まちづくり推進部会 主なご意見等

開催日時：平成29年8月30日（水）16:45～18:00

開催場所：JA 共済埼玉ビル 3階 第1会議室

出席者

| 選出区分             | 役職等                                   |
|------------------|---------------------------------------|
| 学識経験者            | 東京大学 大学院工学系研究科 窪田 亜矢 教授               |
| 地元まちづくり団体        | 大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長               |
| 地元まちづくり団体        | 大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長                 |
| 地元まちづくり団体        | 大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長                |
| 地元まちづくり団体        | 大宮東口駅前街づくり会 事務局長                      |
| 地元まちづくり団体        | 大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長                |
| 地元まちづくり団体        | 大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事               |
| 関係行政機関           | さいたま市 都心整備部長（職務代理）                    |
| デザイン<br>コーディネーター | アーバンデザインセンター大宮 副センター長                 |
| オブザーバー           | 都市再生機構（東日本都市再生本部 事業企画部）<br>事業企画第2課 主幹 |

## ■ 各委員からの主なご意見

### <駅前空間について>

- ・安全・安心や防災の観点も盛り込む必要がある。人工地盤上に滞留空間を設け、その下に交通機能を入れることで、上下で人の安全が担保できるのではないか。
  - ・人工地盤を、旧中山道を越えて、大門二丁目の再開発ビルまで延ばしてはどうか。歩車分離ができ、移動がスムーズに行くのではないだろうか。
- ⇒大門二丁目までつなげる案は、駅のみが発展するのではなく、まちとのつながりを重視する趣旨と理解しており、いかにしてつなぐかがポイントである。
- ・人工地盤を張ると想像以上に上下が分断されると感じた。人工地盤を進めるには覚悟が必要である。
  - ・CGを見た感想としては、人工地盤案はイメージと全く違うと感じた。大宮がこれからまちづくりを推進していくのに、暗いまちにしてほしくない。
  - ・1か0かの意見ではなく、人工地盤と地上レベルの両方のメリットを両立させ、良い所取りする必要がある。
  - ・人工地盤でも良いと思うが、駅からどのように地上に降ろすのかをしっかりと考えなければならない。

### <都市機能について>

- ・オープン会議では、人中心のまちづくりを推進してほしいという意見や、バスやタクシーは、駅から近い方が利便性が高いため、地下を活用してみてはどうかという意見が多かった。
  - ・基盤整備の検討状況はどうか。鉄道事業者に対して、一緒にまちづくりを進めたいと提言してほしい。
  - ・現状の東口はコンコースから出口へ真っすぐ抜けていないため、「抜いてほしい・直ぐに地上へ降ろしてほしい」など、鉄道事業者に提言してはどうか。
- ⇒今後デザインガイドライン等を検討する中でまちづくりの1メンバーとして鉄道事業者に参画頂くことも考えられる。

### <部会としての対応と方向性>

- ・「CGのイメージのような暗いまちにしてほしくない。」「人工地盤と地上レベルの両方のメリットを両立させる必要がある」といった意見をはじめ、頂いた多様な意見を踏まえ、部会長が以下のとおり整理した。
- ①人工地盤に採光のための穴をあけると西口のようになり、地盤上に賑わいを持たせるのは厳しい印象。
  - ②いかに地上に人を降ろし、駅前を魅力的にし、大門二丁目とつなぐかがポイント。デッキの良いところを活かすことも必要。地上案の魅力は、氷川神社への軸や、古典的活用ができること。